

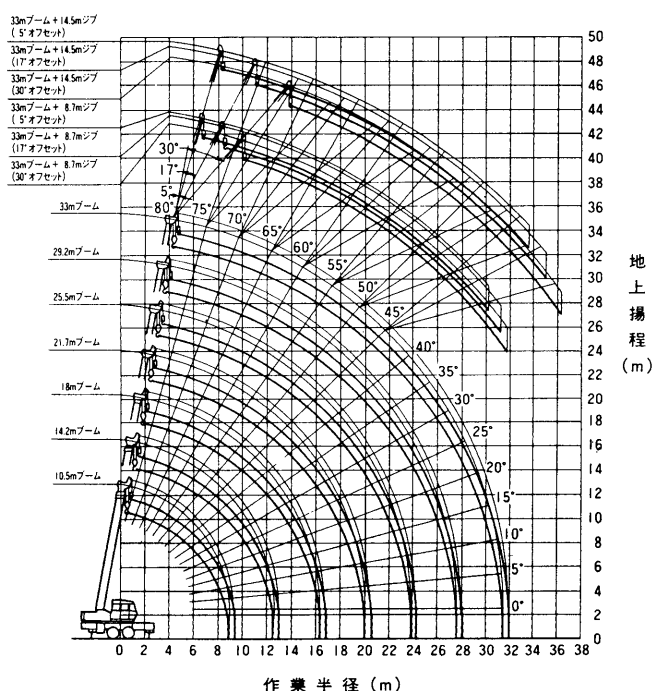
■定格総荷重表(5)

アウトリガ中間(4.1m)張出の側方性能
 アウトリガ最縮小張出・フロントジャッキ使用の前方性能
 アウトリガ最大張出・中間(4.1m)張出・最縮小張出・フロントジャッキ不使用の前方性能

| ブーム 角 度 (°) | 33mブーム+8.7mジブ | | | | | |
|-------------------|---------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| | 5°オフセット | | 17°オフセット | | 30°オフセット | |
| | 作業半径 (m) | 荷 重 (ton) | 作業半径 (m) | 荷 重 (ton) | 作業半径 (m) | 荷 重 (ton) |
| 80.0 | 8.0 | 3.00 | 9.6 | 2.20 | 11.3 | 1.60 |
| 76.5 | 11.0 | 3.00 | 12.5 | 2.20 | 14.0 | 1.60 |
| 73.5 | 13.4 | 2.58 | 14.7 | 1.97 | 16.2 | 1.50 |
| 72.0 | 14.0 | 2.29 | 15.6 | 1.86 | 17.0 | 1.48 |
| 71.0 | 14.6 | 2.03 | 16.2 | 1.71 | 17.7 | 1.46 |
| 68.0 | 16.4 | 1.39 | 17.9 | 1.20 | 19.3 | 1.04 |
| 65.0 | 18.3 | 0.87 | 19.8 | 0.72 | 21.1 | 0.64 |
| 62.0 | 20.1 | 0.47 | 21.4 | 0.42 | 22.8 | 0.33 |
| 標準フック | 3.4tフック | | | | | |
| フック重量 | 60kg | | | | | |
| 巻掛本数 | 1 | | | | | |
| 危険角度 | 59° | | | | | |

| ブーム 角 度 (°) | 33mブーム+14.5mジブ | | | | | |
|-------------------|----------------|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| | 5°オフセット | | 17°オフセット | | 30°オフセット | |
| | 作業半径 (m) | 荷 重 (ton) | 作業半径 (m) | 荷 重 (ton) | 作業半径 (m) | 荷 重 (ton) |
| 80.0 | 9.9 | 2.00 | 12.5 | 1.30 | 15.1 | 0.90 |
| 78.2 | 12.0 | 2.00 | 14.5 | 1.30 | 17.2 | 0.90 |
| 77.0 | 13.1 | 1.84 | 15.5 | 1.25 | 18.0 | 0.90 |
| 73.0 | 15.4 | 1.57 | 17.8 | 1.12 | 20.2 | 0.84 |
| 70.5 | 18.0 | 1.36 | 20.4 | 0.95 | 22.6 | 0.78 |
| 69.0 | 18.9 | 1.14 | 21.5 | 0.94 | 23.6 | 0.77 |
| 66.0 | 21.0 | 0.71 | 23.4 | 0.58 | 25.4 | 0.51 |
| 64.0 | 22.3 | 0.49 | 24.6 | 0.40 | 26.6 | 0.34 |
| 標準フック | 3.4tフック | | | | | |
| フック重量 | 60kg | | | | | |
| 巻掛本数 | 1 | | | | | |
| 危険角度 | 61° | | | | | |

■作業範囲図



注. 1) 本図はブーム及びジブのたわみを含んでいません。
 2) 本図はアウトリガ最大張出時(側方)及び後方のものです。

[注意]

- 1) 定格総荷重は水平堅土上において、本機の保証できる最大荷重を示しており、フックその他のつり具等の重量を含んだ値です。なお[]部分は機械の強度によって定められた値です。
 フックの重量

| フックの種類 | 25トンフック | 3.4トンフック |
|--------|---------|----------|
| 重 量 | 280kg | 60kg |
- 2) 作業半径はブームのたわみを含んだ実際の値に基づいていますので必ず作業半径を基準として作業を行って下さい。ただし、ジブの作業半径は33mブームにジブを装置してジブ作業を行った値を示し、その他のブーム長さでのジブ作業は、ブーム角度だけを基準として行って下さい。
- 3) ルースターシーブの定格総荷重は、ブーム定格総荷重と等しく、かつ、限度を3400kgとします。ただし、ブームにつり具等が取付けられている場合には、定格総荷重より、つり具等の重量のほかにブームに取付けられているつり具等の重量も差引いて下さい。
- 4) ブームの長さが規定の長さを超える場合は、定格総荷重の小さい方の荷重で行って下さい。
- 5) ジブを装置したままでブームの作業を行う場合は、定格総荷重よりつり具等の重量のほかに1800kgを差引いて下さい。なお、この場合ルースターシーブは使用しないで下さい。
- 6) ブームを危険角度以下にしますと無負荷でも転倒しますので充分注意して下さい。
- 7) アウトリガ張出状態によって側方域でのつり上げ性能は異なります。従って各々の張出状態における定格総荷重表で作業を行って下さい。アウトリガ最縮小状態でのフロントジャッキ使用時の前方つり上げは不使用時と同一性能になっています。
- 8) フックの最小巻掛本数は、ワイヤーロープ1本当り3125kgを超えない範囲で決定しますが、各ブーム長に対する標準フック巻掛本数は下表の通りです。

| ブーム長さ | 10.5m~18m | 18m~33m | ジブ | ルースターシーブ |
|-------|-----------|---------|----|----------|
| 巻掛本数 | 8本 | 4本 | 1本 | 1本 |
- 9) アウトリガ最大張出状態でのフロントジャッキ不使用時には、前方つり上げは、後方・側方つり上げより低い性能になっています。側方つりから前方つりに入る場合には、過荷重になる恐れがありますから十分注意して作業を行って下さい。

- 10) 自由降下は原則としてフックのみを降下するときに使用しますが、やむをえず、つり荷を自由降下する場合には、定格総荷重の20%までを限度とし急激なブレーキ操作は絶対に避けて下さい。
- 11) 定格総荷重表は風による影響を含んでいません。瞬間風速が10m/secを超える場合は作業を中止して下さい。
- 12) 定格総荷重を超える作業を行った場合、及び正しい使い方を行わなかった場合は、転倒又は破損します。この場合本機の保証はいたしません。